

箕面森林ふれあい推進センター ～秋のイベント紹介～

水都おおさか森林の市で水源の森ジオラマづくり体験

10月27日(日)、秋晴れの穏やかな天候の下、「水都おおさか森林の市2019」を近畿中国森林管理局庁舎及び周辺の毛馬桜之宮公園で開催しました。

当イベントは、一般の方々が森林の恵みや木のぬくもりにふれていただくことで、森林と人とのつながりや大切さを実感し、豊かな森林資源を次世代に引き継いでいくことを目的に開催しており、今回で33回目を数えます。箕面森林ふれあい推進センターでは、「水源の森ジオラマづくり体験」のブースを出展し、午前、午後の2回、先着20名(小学4年生以上～中学生を対象)限定による体験イベントを行いました。はじめに、職員が「森林と水との関わり」について説明し、森林の働きや大切さを学んだ後に、ジオラマの作成に取り掛かりました。このジオラマづくりの材料は、ケヤキやアカマツの皮やイタドリの枝、水苔などの自然素材を使った職員自らが開発した森林環境教育の教材です。参加者は、各々のアイデアと材料を駆使し、地面やミニ樹木、滝などを作成し、徐々にできあがっていく自分だけの「森」に一喜一憂しながら、森林と水との関わりを感じながら作成しました。思い思いの作品を手に満足そうな子どもたちの笑顔が印象的でした。このイベントをきっかけに、子どもたちが、森林の働きや自然に興味を抱いてくれることを願い、今後もこの活動を続けてまいります。



みんなでジオラマづくり



うまくてきたよ!

みのお森のセラピーの開催

本イベントは、自然散策などの体験を通じて、森の中での癒しの効果や自然(森林)の大切さを実感し、学んでいただくことを目的として開催しています。

今回は、春(5月19日(日))に実施したイベントの続編として、10月20日(日)、11月10日(日)の両日に開催し、総勢22名の一般の方々に参加いただきました。当日は、秋晴れの穏やかな日差しのなか、「セラピーアシスター」と呼ばれるイベントガイドの案内の下、国有林内での自然観察や瞑想、ハンモックに揺られながら、鳥の声や川のせせらぎを聞き、心地よい眠りの体験など、約2時間にわたって、都会では体験できない「癒しの空間」を満喫していただきました。参加者からは、①森歩きの楽しみ方を学ぶことができました、②前日から参加を心待ちにしており、期待以上にリラックスした空間を体験できました、③日常の生活から離れ、ゆったりと過ごすことができよかったなどの感想がありました。今後も、広く一般の方々に森林の素晴らしさを実感いただけるよう取組みを進めてまいります。



ハンモックでゆらゆら



森林散策

アサヒビール森林保全活動への協力



11月9日(土)、明治の森箕面自然休養林に指定されている箕面国有林内において、森林の保全・整備活動を通じてレクリエーションの森の活性化を行い、当センターの活動でもある生物多様性の保全の一環である外来種(ウシガエル)の駆除等にも御協力をいただいている「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」からの要請を受け、本協議会のオフィシャルサポーターであるアサヒビールの森林保全活動へ参加しました。森林保全活動を行った「箕面体験学習の森」は、当センターの活動拠点でもあり、地域関係者等と連携した各種イベントも数多く実施しているフィールドです。



当日は、里山再生の一環として植林した広葉樹を保護するために背丈ほど伸びた下草の刈り払い作業や、区域内の立木をシカの被害(剥皮被害)から守るため、シカ被害防止用の単木防護ネットを設置する作業を行いました。また、木材利用の推進をPRするため、木材(薪)を使った子どもから大人まで楽しめるスウェーデン発祥のゲーム「クップ」の実演を、参加者を交えて実施しました。初めて目にするゲームに戸惑いもありましたが、ゲームの後半には投げたカストピナ(木棒)が的(クップ)に命中すると、小気味よい音が林内に響き、参加者からは歓喜と落胆の声が相互に上がっていました。「クップ」は、スポーツの得手不得手や年齢に関係なく楽しめるゲームであり、これからも様々な場面で普及活動を行い、木材利用の推進に向けた取組を行うとともに、各種ボランティア活動の要請に対して協力等行ってまいります。



※クップとは、スウェーデン発祥のゲームで、チーム対抗で向かい合い、カストピナ(木棒)を投げて相手チームのクップ(木片)を倒し、全部倒した後に中央のキング(王様)を倒すと勝ちとなる的当て・陣取りゲームのこと



「山とみどりのフェスティバル」に出展

11月3日(祝)、箕面の自然環境の保全などに関わる市民団体やNPO等の活動紹介などを目的に、箕面市、NPO法人みのお山麓保全委員会が主催する「山とみどりのフェスティバル」が、箕面公園瀧安寺前広場をメイン会場に開催されました。当日は、2,000人を超える来場者の下、箕面森林ふれあい推進センターからは、森林の働きや大切さを伝えるために「水源の森ジオラマづくり体験」のブースを出展しました。参加者は、思い思いのイメージする水源林を作製しようと、悪戦苦闘しながら、熱心に取り組んでいただきました。世界に一つしかないオリジナルの「水源の森ジオラマ」の完成に皆さん御満足いただけた様子でした。今後も、地域に密着した活動を通じて、国有林や森林の魅力について、一般の方々に伝えるべく、取組を進めてまいります。



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

TEL:050-3160-6745/FAX:06-6881-2055

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局 3F

URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/

E-mail kc_fureai@maff.go.jp

当センターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。

